

兵庫県自然保護協会明石海峡支部のみなさんに、六甲山地の災害の歴史と砂防事業の取り組みについて学んでいただくため、紅葉の六甲山地と一緒に歩き、説明を行いました。

概要

日時：平成25年11月24日(日) 9:00～14:00

コース：【スタート】JR新神戸駅→^{ぬのびき}布引貯水池(断層)→^{しんいちがはら}新市ヶ原えん堤
→^{しょうじょういけ}猩々池→^{た た べ ひがし}多々部東えん堤→【ゴール】^{すわやま}諏訪山公園

主催：兵庫県自然保護協会明石海峡支部 参加人数：6名

○新生田川の土砂災害について説明



現地案内の様子 (布引貯水池)

紅葉も増えた六甲山地を歩き、^{ぬのびき}布引貯水池で断層を見てから、^{しんいちがはら}新市ヶ原えん堤へ。

新生田川では、過去に土砂災害が発生しており、特に昭和42年の7月豪雨では、^{いちがはら}市ヶ原地区で大規模崩壊が起こり被害が出たこと、土砂災害から街を守るために、新生田川ではこれまでに28基の砂防えん堤が整備されていることなどを説明しました。

○感想「山の中の大変な仕事」



新生田川の土砂災害について説明 (新市ヶ原えん堤)

^{しょうじょういけ}猩々池からは再度谷を下り、昭和26年に整備された^{た た べ}多々部えん堤や、近年補強工事をを行った^{た た べ ひがし}多々部東えん堤など、様々な年代の砂防えん堤を見ていただきました。参加者からは、「山の中で大変な仕事をされているのが、良く分かった」といった感想をいただきました。



補強工事の説明 (多々部東えん堤)

実際に六甲山地を見て砂防施設の機能を説明することによって、砂防事業の困難さや大切さを理解していただけるよう、努力していきます。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課



〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535